



「華陽フロンティアで過ごした3年間」

〈平成25年度卒業生 Iさん〉

私が華陽フロンティア高校を卒業してから2年が経ちますが、今でも入学当初の事から卒業まで鮮明に思い出すことができます。私は以前全日制の高校に行っており、その時は通信制高校に対していいイメージを持っていませんでした。全日制と比べ、通う日数が少なく、周りとの関係が希薄になってしまうのではないかと、行事が少ないので思い出はきちんと作れるのか、進路に関しては問題が無いのか、という点ですごく不安でした。しかし、入学してみたらそんな事は全然無くて、確かに通うのは1週間に1回ですが、レポート提出日（金曜日）に自習室に集まり勉強したこと、文化祭やふれあいスポーツ大会、ふれあい研修などの行事、部活動、生徒会活動等、それこそ全日制高校の方々と変わらないほどたくさんの思い出を作ることができました。

進路に関しては学校の授業だけでなく、家や自習室で日々努力を続け目的に向かって邁進し続ける事が大事だと思います。そのおかげで私は今、夢に向かっての第一歩を踏み出すことができました。卒業する時は大学進学など金銭的な面で考えられませんでした。卒業して1年近く頑張ってお金を貯め、大学に進学することができました。勉強に関しては、自習室に行くと先生方がとても丁寧に教えてくださったので、そのおかげで今は周りとの学力の差が無くついていくことができます。

最後になりましたが、私は華陽フロンティア高校で過ごした事をとても誇りに思っており、そのような環境を提供してくださった先生方には今でも感謝の気持ちでいっぱいです。

「私にとっての高校生活」

〈平成26年度卒業生 Iさん〉

私にとって高校生活というものはまさに青春の三年間でした。友人の話から憧れを抱いたことで始まった私の高校生活。辛いことももちろんありましたが、それ以上に楽しいことがたくさんありました。

学校生活に良い思い出のなかった私ですが、こんなにも頑張ろうと思えたのは華陽フロンティア高校のおかげだと思います。良い友人に恵まれ、面白い先生方に囲まれて過ごした中で、本当に楽しかったと笑顔で卒業することができたのが何よりの証です。

入った当時は不安と期待に満ち溢れていた一年生。学校生活に慣れ、友人と過ごすことが何よりも楽しみだった二年生。そして、自分への挑戦と未来への一歩を踏み出すために頑張った三年生。この貴重な三年間を華陽フロンティア高校で過ごせたことは、私にとって宝であり財産です。私に関わってくくださった全ての方へ感謝します。

卒業してから約1年が経ちますが、高校生活がどれだけ充実していたのかを日々感じながら、自分の将来のために奮闘しています。新たな目標を立て、高校生活で学んだこと、経験したことを活かすことが出来るよう精進していきたいです。そして、高校生活をそばで支えてくれていた家族に少しでも恩返しができるよう努めたいです。

